

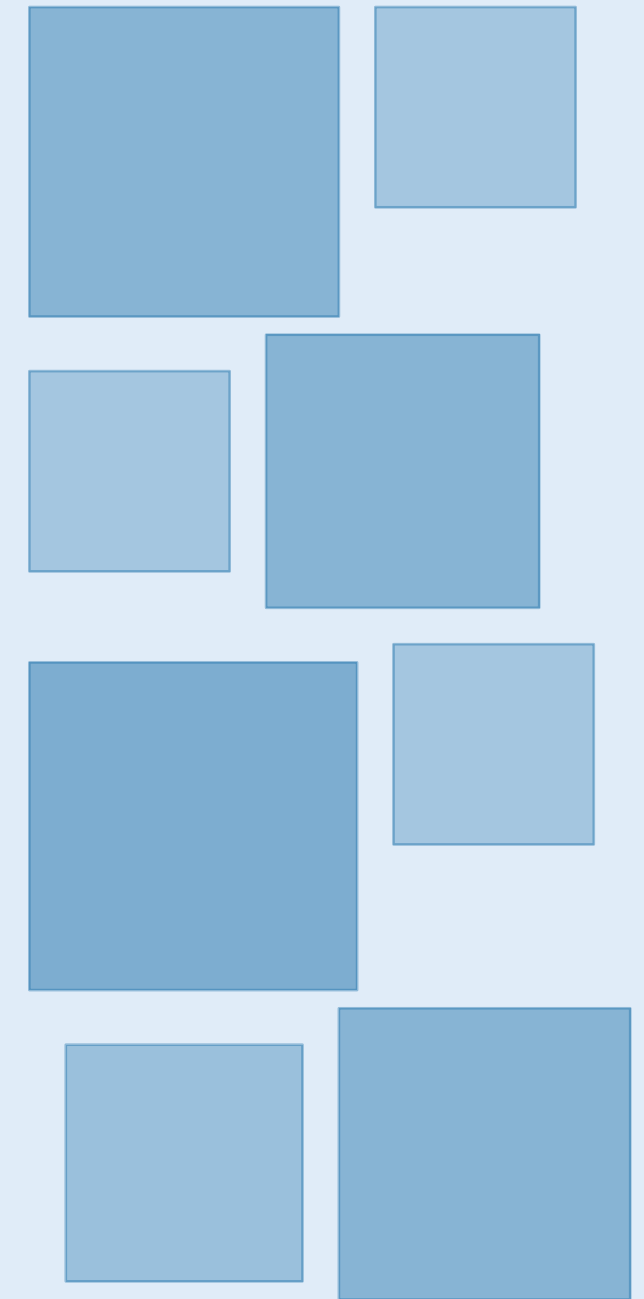
# サイバー防犯のオープンデータを より使いやすくするためのメモ

---

～機械可読性の向上と、SNS詐欺データの拡充～

2026年3月3日

石川 陽一





I teach  
with Udemy

youtube.com/@YoichiIshikawa

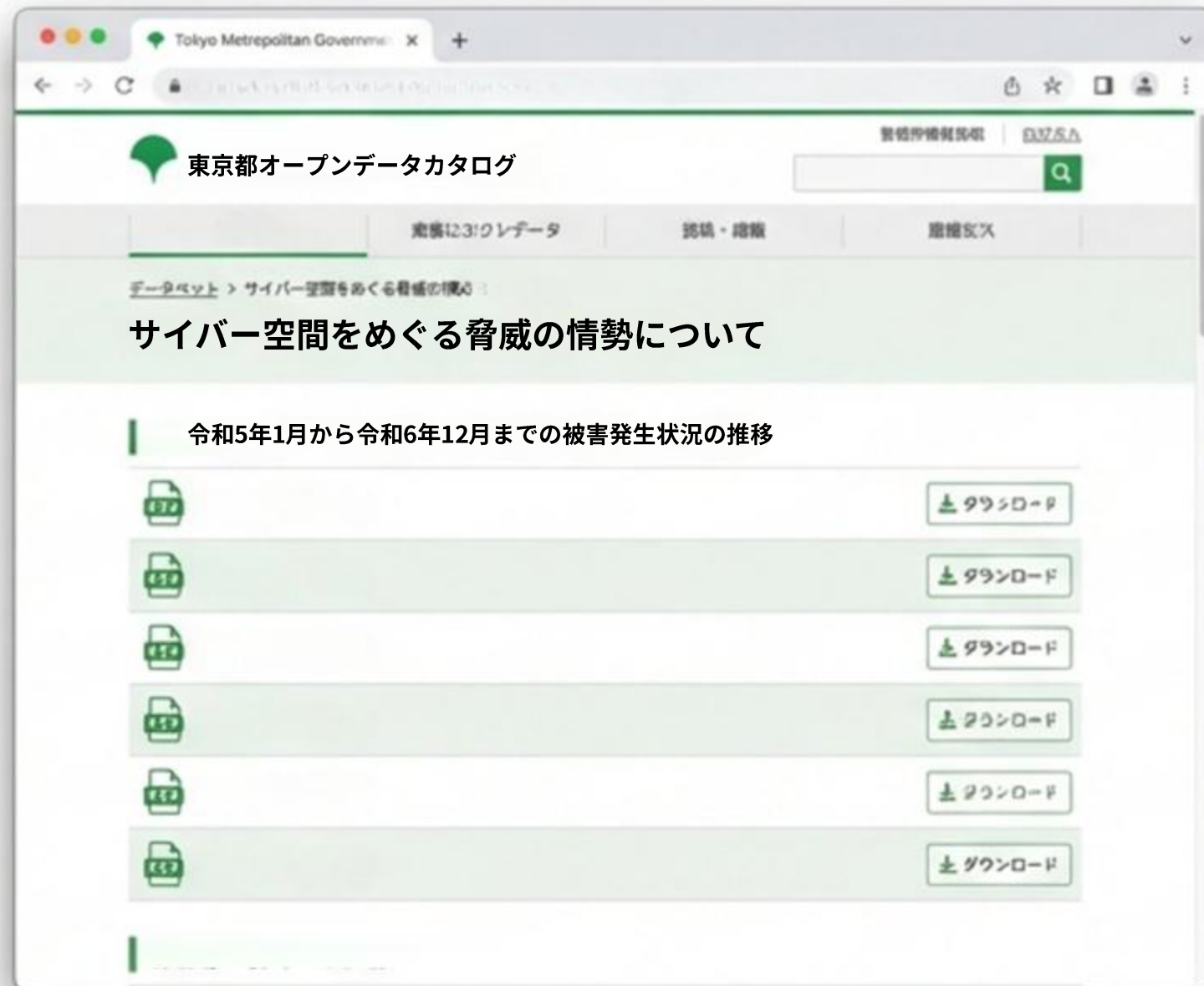
石川 陽一 @ishiayaya



- Microsoft MVP for **Data Platform (Power BI)**, **Security (SIEM & XDR)**
- 2022/7～アント・キャピタル・パートナーズ株式会社
- ISACA 東京支部 副会長・理事
- 日本CTO協会 個人会員 (DX Criteria WG)
- 金融ISAC アルムナイ会員
- 東京・町田在住、富山・奥中バスケット部出身 (八村塁も!)
- 心臓にIoTデバイスICD埋め込みあり
- M365セキュリティ&ゼロトラスト勉強会 主催
- Power BI もくもく・わくわく会 主催
- Power BI Weekly News with Yugo and Suto



# 【現状と課題】 東京都オープンデータの利活用における現状の壁



警視庁「サイバー空間をめぐる脅威の情勢について」



## 機械判読困難な「和暦・半期」と「マトリックス」

公開されているCSV (graph\_1.csv等) は、「R5上 (令和5年上半期)」といった和暦・半期表記や、クロス集計 (マトリックス) 形式で提供されています。これらは人間には読みやすいですが、BIツール (Tableau, Power BI) での自動処理や時系列分析では若干弊害があります。



## 分析には粗すぎる「罪種区分」

graph\_6.csvでは、犯罪の内訳が「詐欺(188)」と大括りにされています。急増するSNS型投資詐欺やロマンス詐欺など、具体的な手口ごとの傾向が見えず、有効な対策を打つためのインサイトが得られません。

# 【提案1・フォーマット】 BIツール等で扱いやすいデータ形式への改善

## 【現状】 人間用閲覧フォーマット

	A	B	C	D
1	区分	全国被害額	都内被害額	
2	R5上	349	322	
3	R5下	524	501	
4				

- 和暦・半期表記 (例: R5上)
- クロス集計 (マトリックス) 形式
- 月のみの表記 (例: 1月, 2月)

「標準化  
(Standardization)」

## 【改善案】 機械可読フォーマット

Date	Area	Category	Value
2023-01-01	東京都	被害額	322
2023-01-01	全国	被害額	349

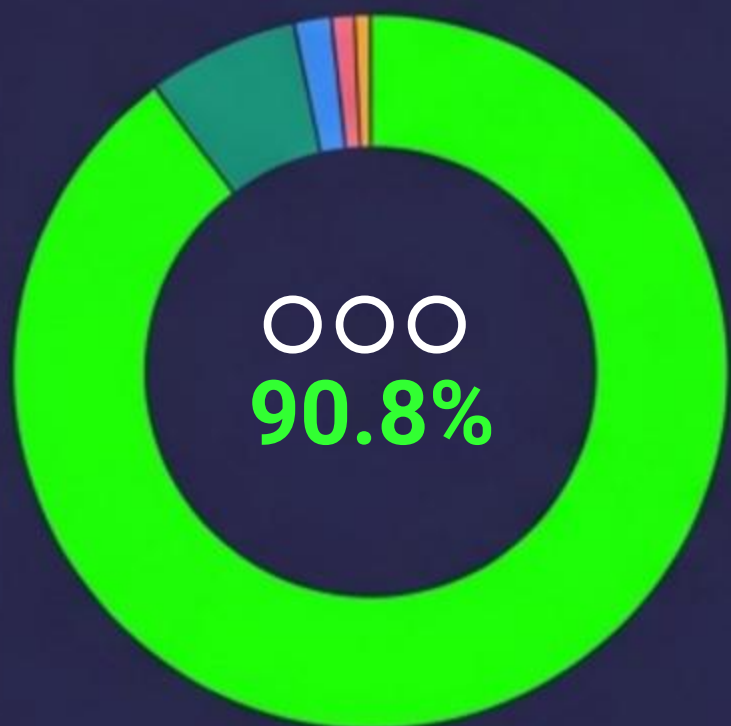
- 西暦・年月表記 (YYYY-MM-DD)
- フラットなテーブル形式 (縦持ち)
- BIツール・プログラムでの自動取込が容易に

「ETLの前処理で加工する手間」を減らすことで、エンジニアやデータサイエンティストが即座に分析・アプリ開発に着手できることが望ましいです。

# 【提案2・コンテンツ】 急増するSNS型投資詐欺に即した詳細項目の追加

## 東京都 SNS投資詐欺ダッシュボード例

被害時の連絡ツール(2025年)



被疑者が詐称した職業



被害者との当初の接触手段



## 高解像度な分析で、 具体的な警鐘を

警察庁の全国データと同様に、東京都のオープンデータにも「当初接触ツール」「詐称職業」「手口」などの詳細項目を追加することを提案します。「単なる詐欺」ではなく、「インスタグラムの投資家広告に注意」といった具体的なメッセージを市民に届けることが可能になります。

- コミュニティでの啓蒙活動例  
サイバーセキュリティ関連勉強会での情勢周知等